



2600
#2
BT
02857-02

Docket No.: H6810.0042/P042
(PATENT)

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:
Kazuo Asami, et al.

Application No.: 10/090,640

Group Art Unit: N/A

Filed: March 6, 2002

Examiner: Not Yet Assigned

For: APPARATUS, SYSTEM AND METHOD
FOR INFORMATION PROVIDING
BUSINESS

CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS

Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

RECEIVED

APR 11 2002

Dear Sir:

Technology Center 2600

Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior foreign application filed in the following foreign country on the date indicated:

Country	Application No.	Date
Japan	2001-206320	July 6, 2001

In support of this claim, a certified copy of the said original foreign application is filed herewith.

Dated: March 22, 2002

Respectfully submitted,
By MARK THRONSON #33,082
Gary L. Veron

Registration No.: 39,057
DICKSTEIN SHAPIRO MORIN &
OSHINSKY LLP
2101 L Street NW
Washington, DC 20037-1526
(202) 785-9700
Attorneys for Applicant

110100239 US

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日
Date of Application MAR 22 2002 01年 7月 6日

出願番号
Application Number: 特願 2001-206320

[ST.10/C]: [J P 2001-206320]

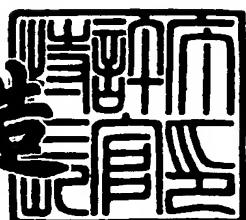
出願人
Applicant(s): 株式会社日立製作所

RECEIVED
APR 11 2002
Technology Center 2600

2002年 2月 15日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特 2002-3006859

【書類名】 特許願
【整理番号】 1101002391
【提出日】 平成13年 7月 6日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 15/00
【発明者】
【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地
 株式会社 日立製作所内
【氏名】 浅見 一夫
【発明者】
【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地
 株式会社 日立製作所 システム事業部内
【氏名】 鵜飼 誠治
【発明者】
【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地
 株式会社 日立製作所内
【氏名】 菅原 敏
【特許出願人】
【識別番号】 000005108
【氏名又は名称】 株式会社 日立製作所
【代理人】
【識別番号】 100064414
【弁理士】
【氏名又は名称】 磯野 道造
【電話番号】 03-5211-2488
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 015392
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報提供事業システムおよび情報提供事業方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報提供者からの情報を掲載した提供媒体によって情報を提供するための情報提供事業システムであって、

前記情報提供者の情報の価値を設定する情報価値設定手段と、

前記情報の価値に応じて前記情報提供者に特典を分配する特典分配手段と、
を備えることを特徴とする情報提供事業システム。

【請求項2】 前記特典は、少なくとも前記提供媒体に掲載した広告の広告料の全部または一部であることを特徴とする請求項1に記載の情報提供事業システム。

【請求項3】 前記提供媒体を、通信媒体を介して送信することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の情報提供事業システム。

【請求項4】 前記提供媒体は、インターネット上で公開されるホームページであることを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の情報提供事業システム。

【請求項5】 前記情報価値設定手段は、前記情報の価値をホームページへのアクセス回数に基づいて設定することを特徴とする請求項4に記載の情報提供事業システム。

【請求項6】 情報提供者の情報を情報提供者用端末から通信媒体を介して受信し、前記通信媒体を介して送信可能な提供媒体によって前記情報提供者の情報を公開し、前記提供媒体を情報受信者用端末に前記通信媒体を介して送信することによって前記情報提供者の情報を情報受信者に提供する情報提供事業システムであって、

前記情報受信者用端末に前記提供媒体によって前記情報提供者の情報が受信された回数に基づいて、前記情報提供者の情報の価値を設定する情報価値設定手段と、

価値が高い情報を提供した情報提供者に特典を与えるために、前記情報価値設定手段で設定した情報の価値に応じて特典を分配する特典分配手段と、

を備えることを特徴とする情報提供事業システム。

【請求項7】 前記情報提供者の情報毎に前記情報受信者用端末に受信された回数を設定するためのデータベースを備え、

前記情報価値設定手段は、前記データベースに基づいて前記情報提供者の情報の価値を設定することを特徴とする請求項6に記載の情報提供事業システム。

【請求項8】 前記特典は、前記提供媒体に掲載した広告の広告料または／および前記通信媒体の通信料の一部が還元された還元通信料による賞金とすることを特徴とする請求項6または請求項7に記載の情報提供事業システム。

【請求項9】 前記提供媒体に、前記情報受信者が情報の有用性を書き込むためのアンケート欄を設け、

前記情報価値設定手段は、前記アンケート欄に書き込まれた情報の有用性を加味して前記情報提供者の情報の価値を設定することを特徴とする請求項6乃至請求項8のいずれか1項に記載の情報提供事業システム。

【請求項10】 前記情報価値設定手段は、前記情報の価値をポイント化して所定期間毎のポイントを集計し、

前記特定分配手段は、前記集計したポイントに基づいて前記特典を分配することを特徴とする請求項6乃至請求項9のいずれか1項に記載の情報提供事業システム。

【請求項11】 前記提供媒体は、インターネット上で公開されるホームページであり、前記ホームページにアクセス回数を表示することを特徴とする請求項6乃至請求項10のいずれか1項に記載の情報提供事業システム。

【請求項12】 情報提供者からの情報を掲載した提供媒体によって情報を提供するための情報提供事業方法であって、

前記情報提供者の情報の価値を設定し、

前記設定した情報の価値に応じて特典を分配すること、
を特徴とする情報提供事業方法。

【請求項13】 前記特典は、少なくとも前記提供媒体に掲載した広告の広告料の全部または一部であることを特徴とする請求項12に記載の情報提供事業方法。

【請求項14】 前記提供媒体を、通信媒体を介して送信することを特徴とする請求項12または請求項13に記載の情報提供事業方法。

【請求項15】 前記提供媒体は、インターネット上で公開されるホームページであることを特徴とする請求項12乃至請求項14のいずれか1項に記載の情報提供事業方法。

【請求項16】 前記情報の価値をホームページへのアクセス回数に基づいて設定することを特徴とする請求項15に記載の情報提供事業方法。

【請求項17】 情報提供者の情報を情報提供者用端末から通信媒体を介して受信し、前記通信媒体を介して送信可能な提供媒体によって前記情報提供者の情報を公開し、前記提供媒体を情報受信者用端末に前記通信媒体を介して送信することによって前記情報提供者の情報を情報受信者に提供する情報提供事業方法であって、

前記情報受信者用端末に前記提供媒体によって前記情報提供者の情報が受信された回数に基づいて、前記情報提供者の情報の価値を設定し、

価値が高い情報を提供した情報提供者に特典を与えるために、前記設定した情報の価値に応じて特典を分配すること、

を特徴とする情報提供事業方法。

【請求項18】 前記情報提供者の情報毎に前記情報受信者用端末に受信された回数を設定するためのデータベースに基づいて、前記情報提供者の情報の価値を設定することを特徴とする請求項17に記載の情報提供事業方法。

【請求項19】 前記特典は、前記提供媒体に掲載した広告の広告料または／および前記通信媒体の通信料の一部が還元された還元通信料による賞金とすることを特徴とする請求項17または請求項18に記載の情報提供事業方法。

【請求項20】 前記提供媒体に、前記情報受信者が情報の有用性を書き込むためのアンケート欄を設け、

前記アンケート欄に書き込まれた情報の有用性を加味して前記情報提供者の情報の価値を設定することを特徴とする請求項17乃至請求項19のいずれか1項に記載の情報提供事業方法。

【請求項21】 前記情報の価値をポイント化して所定期間毎のポイントを集

計し、

前記集計したポイントに基づいて前記特典を分配することを特徴とする請求項17乃至請求項20のいずれか1項に記載の情報提供事業方法。

【請求項22】 前記提供媒体は、インターネット上で公開されるホームページであり、前記ホームページにアクセス回数を表示することを特徴とする請求項17乃至請求項21のいずれか1項に記載の情報提供事業方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報を提供する事業を運営するための情報提供事業システムおよび情報提供事業方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、パーソナルコンピュータ（以下、パソコンと記載する）や携帯電話等の普及に伴って、グローバルに情報を提供する媒体としてインターネットが普及している。通常、パソコンからインターネットに接続するには、インターネットへの接続サービスを提供する業者であるプロバイダと接続契約し、プロバイダのサーバを介して接続することができる。また、携帯電話からインターネットに接続するには、携帯電話事業者が提供するサービスであるインターネット接続サービスに契約し、携帯電話事業者のサーバを介して接続することができる。この場合、携帯電話事業者は、通信事業だけでなく、プロバイダ事業も兼ねている。

【0003】

インターネットは、世界中のコンピュータを相互接続したネットワークであり、これらのコンピュータの中にある様々なウェブサイトに接続可能である。そのため、パソコン等からインターネットを介してウェブサイトに接続し、このウェブサイトのホームページを閲覧することによって様々な情報を得ることができる。したがって、インターネットは、巨大なデータベースでもある。

【0004】

ウェブサイトの中には、情報料を支払うことによって情報を得ることができる

有料サイトと、無料で情報を得ることができる無料サイトがある。有料サイトで情報を提供する情報提供者は、情報の提供回数が増加するほど収入が増加するので、情報受信者にとって有用な情報となることを目指して情報の内容の充実に努めている。一方、無料サイトで情報を提供する情報提供者は、収入を得ることができないので、情報受信者にとって有用な情報というよりも、自身が公開したい情報のみ提供している。

【0005】

また、特開平9-163351号公報には、情報を提供する媒体としてケーブルテレビネットワーク等の双方向通信手段を用いた双方向メディアを利用した流通システムが開示されている。この流通システムでは、コマーシャル依頼企業からのコマーシャル（商品情報）を双方向通信手段を介して視聴者に提供し、コマーシャルの視聴データに応じて商品購入時の特典を視聴者（情報受信者）に与えている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

インターネットの爆発的な普及に伴って、プロバイダの数が急激に増加とともに、携帯電話によるインターネット接続サービスを提供する携帯電話事業者も増加している。その結果、プロバイダ等の間では接続契約者の獲得競争が激化し、各プロバイダは接続契約者に提供するサービスを充実させて他のプロバイダとの差別化を図っている。のために、プロバイダ等は、提供する情報の質を向上させ、情報を提供する事業としての価値を高める必要がある。ちなみに、前記の流通システムのように視聴者（情報受信者）に特典を与えたとしても、提供する情報の質の向上にはつながらない。

【0007】

そこで、本発明の課題は、情報を提供する事業の価値を向上させる情報提供事業システムおよび情報提供事業方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決した本発明は、情報提供者からの情報を掲載した提供媒体によ

って情報を提供するための情報提供事業システムにおいて、情報提供者の情報の価値を設定し、この設定した価値に応じて特典を分配する。

この発明によれば、情報提供者が特典を得るために提供する情報の質の向上に努めるので、情報を提供する事業としての価値を向上させることができる。

【0009】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、本発明に係る情報提供事業システムおよび情報提供事業方法の実施の形態を説明する。

【0010】

本発明に係る情報提供事業システムおよびその方法は、情報提供者からの情報を掲載した提供媒体によって情報を提供する事業において、事業価値を高めるために、提供する情報の価値を高める。そのために、本発明では、情報提供者からの情報に対して価値を設定し、その情報の価値に応じて情報提供者に特典を分配する構成とした。つまり、特典を得たい情報提供者は、情報の価値を向上させるために、情報受取者にとって有用な情報となるように情報内容の充実や情報の取り扱いの容易化等に努める。

【0011】

さらに、本発明では、提供媒体に広告も掲載することによって、その広告料の全部または一部を特典の財源の一つとする。また、本発明では、提供媒体を通信媒体によって送信することによって、提供媒体を迅速に情報受取者に送る。

【0012】

特に、本発明では、提供媒体をインターネット上で公開されるホームページとすることによって、情報をグローバルに提供でき、情報の検索も容易となる。この場合、本発明では、情報の価値をホームページへのアクセス回数に基づいて設定することによって、情報受取者にとっての情報の有用性を簡単に評価することができる。

【0013】

また、本発明に係る情報提供事業システムおよびその方法は、情報提供者の情報を情報提供者用端末から通信媒体を介して受信し、通信媒体を介して送信可能

な提供媒体によって情報提供者の情報を公開し、提供媒体を情報受信者用端末に通信媒体を介して送信することによって情報提供者の情報を情報受信者に提供する事業において、通信媒体を介して情報を提供する事業価値を高めるために、提供する情報の価値を高める。そのために、本発明は、情報受信者用端末に提供媒体によって情報提供者の情報が受信された回数に基づいて情報提供者の情報の価値を設定し、価値が高い情報を提供した情報提供者に特典を与えるために、設定した情報の価値に応じて特典を分配する構成とした。つまり、本発明では、情報受信者にとって有用な情報であるかを受信回数に基づいて設定し、受信回数を増やすことによって事業価値を高めた情報提供者に特典を与えることができる。

【0014】

さらに、本発明では、情報提供者の情報毎に情報受信者用端末に受信された回数を設定するためのデータベースに基づいて情報提供者の情報の価値を設定することによって、情報の価値を設定するためのデータを管理でき、価値の設定も容易化する。また、本発明では、特典を提供媒体に掲載した広告の広告料または／および通信媒体の通信料の一部が還元された還元通信料による賞金とすることによって、事業資金を確保することができる。また、本発明では、提供媒体に情報受信者が情報の有用性を書き込むためのアンケート欄を設け、アンケート欄に書き込まれた情報の有用性を加味して情報提供者の情報の価値を設定することによって、情報の価値に情報受信者の意見をより反映できる。また、本発明では、情報の価値をポイント化して所定期間毎のポイントを集計し、集計したポイントに基づいて特典を分配することによって、価値の高い情報順に特典を容易に分配できる。また、本発明では、提供媒体であるインターネット上で公開されるホームページにアクセス回数を表示することによって、有用性のある情報か否かを情報受信者に知らせることができる。

【0015】

なお、情報提供事業は、情報提供者からの情報を提供媒体を介して提供する事業であり、例えば、プロバイダ事業、インターネット接続サービスを提供する携帯電話事業、ケーブルテレビ事業、通信販売業等である。提供媒体は、情報提供者からの情報を掲載するための媒体かつ閲覧可能な媒体であり、例えば、ホーム

ページ、テレビ画面、通販雑誌等である。情報の価値は、情報受取者にとっての有用性で評価され、例えば、情報がホームページに掲載されている場合にはホームページへのアクセス回数やアクセス時間等に基づいて評価される。特典は、情報提供者にとって有益となるものであり、例えば、賞金、賞品、各種割引、各種有価証券等である。通信媒体は、提供媒体のデータを送受信するための媒体であり、例えば、ISDN [Integrated Services Digital Network] 回線等の公衆回線、ケーブルテレビネットワーク等の専用回線、準天頂衛星（HEO [Highly Elliptical Orbit] 等）による通信等である。

【0016】

本実施の形態では、本発明に係る情報提供事業システムおよびその方法をプロバイダのサーバおよびサーバによる処理に適用し、プロバイダがそのサーバによって情報提供事業を運営する。そこで、本実施の形態では、提供媒体がホームページであり、通信媒体がISDN等の公衆回線である。また、本実施の形態では、ホームページに情報提供者からのホームページ情報の他に広告主からの広告情報を掲載し、この広告料等による収入における余剰利益を特典（賞金）の財源とする。さらに、本実施の形態では、情報提供者からの情報の価値を、ホームページへのアクセス回数、ホームページに対するアンケート結果、ホームページへのアクセス時間やホームページに掲載されている広告のウェブサイトへのアクセス回数に基づいて設定する。

【0017】

それでは、図1を参照して、プロバイダPのサーバ1による情報を提供する事業の全体構成について説明する。図1は、プロバイダのサーバによる情報提供事業の全体構成図である。なお、図1には、情報提供者O, ···、情報受信者R, ···および広告主A, ···は、その数を省略して記載してあるが、実際には多数存在する。

【0018】

サーバ1は、プロバイダ契約を結んでいる情報提供者O, ···が各々所有する端末2, ···と、公衆回線4によるインターネットI上で接続可能である。また、サーバ1は、プロバイダ契約を結んでいる情報受信者R, ···が各々所

有する端末3, . . . と、公衆回線4によるインターネットI上で接続可能である。

なお、本実施の形態では、サーバ1が特許請求の範囲に記載の情報提供事業システムに相当し、公衆回線4が特許請求の範囲に記載の通信媒体に相当する。

【0019】

サーバ1は、情報提供者O, . . . のホームページ情報HO, . . . を端末2, . . . から受信するとともに、プロバイダPが受け取った広告主A, . . . からの広告情報HA, . . . がオペレータによって入力される。そして、サーバ1は、オペレータの操作によってホームページ情報HOと広告情報HAを含んだホームページHD, . . . を作成し、閲覧要求に応じて各ホームページHD, . . . を情報受信者R, . . . の端末3, . . . に送信する。ちなみに、このホームページHD, . . . で提供される情報には、情報提供者O, . . . に応じて有料情報と無料情報がある。

なお、本実施の形態では、ホームページ情報HOが特許請求の範囲に記載の情報提供者の情報であり、ホームページHDが特許請求の範囲に記載の提供媒体である。

【0020】

前記のような機能を有するサーバ1を所有するプロバイダPは、インターネットIへの接続サービスを提供する業者であり、インターネットIを介して情報提供者O, . . . の情報を提供するとともに、広告主A, . . . の広告を提供する。また、プロバイダPは、広告主A, . . . と広告掲載契約を結ぶとともに、公衆回線4によって通信事業を運営している通信業者Cと通信料契約を結んでいる。通信業者Cは、情報提供者O, . . . および情報受信者R, . . . からサーバ1と接続した際の通信料CC, . . . を徴収している業者である。

【0021】

そして、プロバイダPは、広告主A, . . . から広告料CA, . . . を受け取るとともに、通信業者Cから還元通信料CRを受け取る。還元通信料CRは、情報提供者O, . . . および情報受信者R, . . . が支払った通信料CC, . . . によって余剰利益がでた場合に、その余剰利益に貢献したプロバイダPに貢献料

として与えられる余剰利益の一部である。ちなみに、余剰利益がない場合、還元通信料CRは与えられない。

【0022】

さらに、プロバイダPは、情報提供者O, ··· および情報受信者Rから契約料や月毎の接続料等を受け取る。しかし、プロバイダPは広告料CA, ··· を主な収入源としているので、契約料や月毎の接続料等は少額あるいは無料である。したがって、プロバイダPは、広告主A, ··· や広告料CA, ··· を増加させるために、広告情報HA, ··· を見る（すなわち、ホームページHD, ··· にアクセスする）情報受信者R, ··· を増加させる必要がある。そのために、プロバイダPは、情報受信者R, ··· にとって有用な情報を多数提供できるようにする必要がある。

【0023】

そこで、プロバイダPは、無料情報のホームページ情報HO, ··· を提供している情報提供者O, ··· に対して、そのホームページ情報HO, ··· の価値が高い場合には賞金PMを授与している。というのは、有料情報のホームページ情報HO, ··· を提供している情報提供者O, ··· は、ホームページHD, ··· へのアクセスが増加するほど収入が増加するので、情報受信者R, ··· にとって有用な情報となることを目指してホームページ情報HO, ··· の内容の充実や情報の取り扱いの容易化等に努めている。一方、無料情報のホームページ情報HO, ··· を提供している情報提供者O, ··· は、収入を得ることができないので、情報受信者R, ··· にとって有用な情報というよりも、自身が公開したいホームページ情報HO, ··· を提供している。また、情報受信者R, ··· は、情報を無料で得るほうがよいので、無料情報のホームページHD, ··· の情報の内容の充実等を望んでいる。したがって、プロバイダPは、情報受信者R, ··· を増加させてホームページHDへのアクセスを増加させるために、無料情報の情報提供者O, ··· にホームページ情報HO, ··· の質（内容の充実や情報の扱い易さ等）を向上させる必要がある。そこで、プロバイダPは、情報受信者R, ··· にとって有用な情報を提供している無料情報の情報提供者O, ··· に賞金を与えることによって、無料情報の情報提供者O, ···

・間に競争原理を導入し、ホームページ情報HO, . . . の質の向上を促している。

【0024】

そのために、サーバ1は、毎月、無料情報の情報提供者O, . . . のホームページHD, . . . 毎にポイントを設定し、このポイントの高い順に賞金PMを分配する。したがって、ポイントの低いホームページHD, . . . の情報提供者O, . . . に対しては賞金PMは分配されない。ちなみに、賞金PMの財源はプロバイダPの収入における余剰利益（収入における利益から見込み利益を差し引いた利益）の一部（例えば、50%）であり、余剰利益がない月は賞金PMは分配されない。なお、ポイントの設定および賞金PMの分配については、後で詳細に説明する。

なお、本実施の形態では、ポイントが特許請求の範囲に記載の情報の価値であり、賞金PMが特許請求の範囲に記載の特典である。

【0025】

次に、図1乃至図4を参照して、サーバ1の詳細な構成について説明する。図2は、サーバの構成図である。図3は、ポイントデータベースの構成図である。図4は、ホームページの画面構成の一例である。

【0026】

サーバ1は、主なものとして主制御装置10、記憶装置11、入出力装置12、通信制御装置13等を備えており、これらの装置をバス14で接続している。

【0027】

主制御装置10について説明する。主制御装置10は、MPU[Micro Processing Unit]およびRAM[Random Access Memory]等から構成され、サーバ1を統括制御する。そのために、主制御装置10は、WWW[World Wide Web]サーバプログラム10aを備えている。

【0028】

WWWサーバプログラム10aは、HTTP[Hyper Text Transfer Protocol]で通信するための通信基盤プログラムである。なお、WWWサーバプログラム10aは、サーバ1がインターネットIに接続されると、RAM上にロードされて

MPUで実行される。

【0029】

また、主制御装置10は、情報受信者R, がサーバ1に接続した際に、情報受信者R, が必要な情報を検索するための情報検索画面を提供する。そのために、主制御装置10は、サーチエンジン10bを備えている。

【0030】

サーチエンジン10bは、サーバ1で提供できるホームページHD, の中から必要な情報を検索するための情報検索エンジンである。サーチエンジン10bは、情報受信者R, に情報検索画面を提供し、その情報検索画面の入力エリアにキーワードを入力させる。そして、サーチエンジン10bは、そのキーワードが使われているホームページHDを記憶装置11のホームページデータベース11aから検索し、該当するホームページHD, を抽出する。続いて、サーチエンジン10bは、抽出したホームページHD, の件数やその概要等を情報検索画面の出力エリアに表示する。なお、この情報検索画面にも、広告情報HA, のエリアを有している。

【0031】

そして、主制御装置10は、端末3, からその情報検索画面の出力エリアで表示しているホームページHDに対する閲覧要求に応じて、ホームページデータベース11aに格納されたホームページHDを端末3, に通信制御装置13を介して送信する。

【0032】

さらに、主制御装置10は、情報受信者R, のホームページHD, 毎にその情報の価値としてポイントを設定するとともに、そのポイントに応じて賞金PMを分配する。そのために、主制御装置10は、ポイント設定手段10cと賞金分配手段10dを備えている。なお、ポイント設定手段10cと賞金分配手段10dについては、記憶装置11の説明の後に詳細に説明する。

なお、本実施の形態では、ポイント設定手段10cが特許請求の範囲に記載の情報価値設定手段に相当し、賞金分配手段10dは特許請求の範囲に記載の特典分配手段に相当する。

【0033】

また、主制御装置10は、情報提供者O,からのホームページ情報HO,と広告主A,からの広告情報HA,を掲載したホームページHD,をHTML[Hyper Text Makeup Language]形式で作成し、ホームページデータベース11aに格納する機能を有している。図4に示すように、ホームページHDの画面構成の一例として、ホームページ画面HDaは、右上部の大きなエリアにホームページ情報HOを掲載するためのコンテンツエリアHD b、下部と左部に広告情報HA, HAを掲載するための広告エリアHD c, HD dおよびホームページHDへのアクセス回数を示すためのアクセス回数表示エリアHD eを有している。なお、コンテンツエリアHD bの大きさや位置、広告エリアHD c, HD dの個数、大きさや位置等は、これ以外の様々な形態としてよい。また、アクセス回数表示エリアHD eについても、大きさや位置をこれ以外の様々な形態としてよいし、情報の価値を示すポイント等を表示してもよい。また、広告エリアHD c, HD dには、この広告の詳細な情報のウェブサイトに飛ぶためのリンクボタン（例えば、図4の詳細ボタンHD f）を設けたり、その広告の商品を購入するためのウェブサイトに飛ぶためのリンクボタン（例えば、図4の購入ボタンHD g）を設けたりしてもよい。

【0034】

さらに、ホームページHDの中には、このホームページHDを見た情報受信者Rが情報の評価を書き込むためのアンケート欄が設けられている。例えば、このアンケート欄には、情報に対する3段階評価として、「非常に参考になった」、「参考になった」、「参考にならなかった」に対するチェック欄が設けられる。この評価結果によって、情報受信者R,にとっての情報の有用性が判るので、後記するように加算するポイントの点数を変えている。

【0035】

次に、記憶装置11について説明する。記憶装置11は、ハードディスク装置や光磁気ディスク装置等から構成される。記憶装置11は、サーバ1の各種プログラムを格納するとともに、ホームページデータベース11a、ポイントデータベース11b等を格納している。

【0036】

ホームページデータベース11aは、インターネットI上に送信されるホームページHD, . . . のHTML形式のデータが格納されている。

【0037】

ポイントデータベース11bは、ホームページHDの情報の価値を示すポイントを設定するためのデータが情報提供者O, . . . のホームページHD, . . . 毎に格納されている。ホームページHDの情報の価値を判断する材料としては、情報受信者Rにとっての情報の有用性を数値として明確化するために、情報受信者R, . . . からのアクセスに関する情報を利用している。具体的には、ポイントを、ホームページHDへのアクセス回数（アンケート結果を加味したもの）、アクセス時間、広告の各種ウェブサイトへのアクセス回数に基づいて設定している。

【0038】

ポイントデータベース11bには、ホームページHDのホームページ名をキーインデックスとして、情報提供者Oの情報として情報提供者名、住所、電話番号、メールアドレスと口座番号、ホームページHDの情報としてホームページアドレス、ポイントを設定するための情報としてはアクセス回数、アクセス時間、広告アクセス回数およびポイントが格納される。なお、同一の情報提供者Oが複数のホームページHDを開設している場合、各ホームページHDに対して情報が格納される。

【0039】

アクセス回数は、ホームページHDがアクセスされる毎に、前記したアンケート欄の「非常に参考になった」にチェックされている場合には〔2〕の欄がカウントアップされ、「参考になった」にチェックされている場合には〔1〕の欄がカウントアップされ、「参考にならなかった」にチェックされている場合には〔0.5〕の欄がカウントアップされる。つまり、情報受信者Rに参考になった情報ほど情報の価値が高いので、ポイント設定時に、アクセス回数を単純に加算するのではなくアンケート結果に応じて加算する点数を変えている。また、アクセス回数が多いほど、広告主Aにとっては広告情報HAを見られる機会が増え、通

信業者Cにとって通信回数が増える。なお、アンケート欄にチェックされていなかった場合、情報受信者Rが関心を示さなかったものとして、[0. 5]の欄がカウントアップされる。

【0040】

アクセス時間は、ホームページHDがアクセスされる毎に、そのアクセスされていた時間(秒)が加算される。つまり、アクセスされていた時間が長いほど情報受信者Rに関心が高かったので、アクセス時間も加味している。また、アクセスしている時間が長いほど、広告主Aにとって広告情報HAを見られる時間が増え、通信業者Cにとって通信時間が増える。

【0041】

広告アクセス回数は、ホームページHDがアクセスされる毎に、そのホームページHDに掲載されている広告のウェブサイトにアクセスされた回数がカウントアップされる。つまり、広告のウェブサイトへのアクセス回数が多いほど、広告主Aにとってその広告の効果があったことを示すからである。

【0042】

ポイントは、毎月末日に設定される。ポイントは、([2]のアクセス回数×2)、([1]のアクセス回数×1)、([0. 5]のアクセス回数×0. 5)、(アクセス時間/100)と(広告アクセス回数)が加算され、その加算値の小数点以下が四捨五入されて整数値として設定される。ポイント設定後に賞金が分配されると、アクセス回数、アクセス時間、広告アクセス時間およびポイントは全て0に初期設定される。

【0043】

それでは、前記した主制御装置10のポイント設定手段10cについて説明する。ポイント設定手段10cは、ポイントデータベース11bを設定する機能を有する。つまり、ポイント設定手段10cは、新しいホームページHDが開設される毎に、ポイントデータベース11bに新たなフィールドを確保し、ホームページ名、情報提供者名、住所、電話番号、メールアドレス、口座番号、ホームページアドレスを設定する。また、ポイント設定手段10cは、ホームページHDが情報受信者Rにアクセスされる毎に、そのホームページHDをポイントデータ

ベース11bから検索し、そのフィールドに対してアクセス回数、アクセス時間および広告アクセス回数を設定する。さらに、ポイント設定手段10cは、毎月末日に、ポイントデータベース11bに格納されている全てのホームページHD, . . . の各フィールドに対して、ポイントを前記した算出方法によって算出し、設定する。

【0044】

次に、賞金分配手段10dについて説明する。賞金分配手段10dは、ポイントデータベース11bに設定された各ホームページHD, . . . のポイントに応じて賞金を分配する機能を有する。つまり、賞金分配手段10dは、毎月末日に、広告料CA, . . . および還元通信料CR等による収入に基づいて余剰利益があるか判断し、余剰利益がある場合には賞金総額を算出する。そして、賞金分配手段10dは、その賞金総額をポイントの多い順に割り振り、その賞金額とそのホームページHDの情報提供者〇をリスト化して出力する。最後に、賞金分配手段10dは、ポイントデータベース11bのアクセス回数、アクセス時間、広告アクセス時間およびポイントを0に初期設定する。賞金総額の割り振り方としては、例えば、ポイントの一番多いホームページHDに対して賞金総額の50%、2番目には20%、. . . と一定割合で賞金総額を分けるパターン、ポイントが所定数以上のホームページHDに一律に賞金総額を分けるパターン、あるいはポイントの上位にポイントに応じて賞金総額を分けるパターン等がある。なお、賞金総額が0の場合あるいは一定額以下（例えば、1万円以下）の場合には、賞金を分配しない。

【0045】

入出力装置12は、キーボード、マウス、表示装置等から構成され、I/O装置を介して接続されている。

【0046】

通信制御装置13は、モ뎀、DSU [Digital Service Unit] 等から構成され、インターネットIによる情報の送受信を実現する。

【0047】

次に、図1を参照して、端末2について説明する。端末2は、インターネット

Iに接続可能な端末であり、例えば、情報提供者Oが所有するパソコンである。端末2は、サーバ1と同様に、主なものとして主制御装置、記憶装置、入出力装置、通信制御装置等を備え、これらの装置がバスによって接続されている。さらに、端末2は、WWWブラウザを備え、インターネットI上に存在する種々のサーバ(WWWサーバ等)が閲覧可能に保持している各種情報を閲覧することができる。また、端末2は、WWWブラウザを利用し、インターネットI上に存在する種々のサーバに各種情報を送信することができる。そこで、端末2からは、ホームページ情報HOがサーバ1に送信される。このホームページ情報HOの送信は、ホームページの開設時の他に、情報の内容を変更する時(例えば、情報の内容を充実させた時、情報を情報受信者Rにとって扱い易くした時、情報受信者Rの要望に答えた情報を追加した時)にも行われる。なお、ホームページ情報HOは、HTML形式のデータでもよいし、あるいは様々な形式のワープロデータ、映像データや音声データ等の電子データでもよい。また、ホームページ情報HOは、プロバイダPに郵送等で送られる紙による文章や絵、写真、ビデオテープ、音声テープ等でもよい。

【0048】

情報提供者Oについても説明しておく。情報提供者Oは、プロバイダPとプロバイダ契約を結び、情報を提供するためにホームページHDを開設する者である。情報提供者Oは、プロバイダ契約において、提供する情報を無料にするあるいは有料にするかを設定している。また、情報提供者Oは、プロバイダ契約において、ホームページHDにおいて広告を掲載してよいか否か、あるいは特定の広告のみ掲載してよい等の広告掲載に関する事項について設定している。このように、情報提供者Oの了解の下にホームページHDに広告を掲載することは、情報提供者Oが広告主Aを探す代わりにプロバイダPがこれを行うことになり、プロバイダPが広告代理店業務を行うとも考えられる。ちなみに、情報提供者Oが、情報受信者Rになることもある。なお、広告を掲載しないホームページHDが賞金PMを分配できる程度のポイントを得ている場合、広告に関しては貢献していないが、情報を提供する事業としての価値を高めることに関しては貢献しているので、賞金PMを通常より減額して授与するようになる。

【0049】

例えば、情報提供者O、・・・の中には、ホームページHDによって小説、楽曲等の作品を無料で発表する者が含まれたりする。この場合、その小説あるいは楽曲等がヒットすると、そのホームページHDへのアクセスが増加する。その結果、このような無名のアーチスト（情報提供者O）でも、賞金PMを得ることが可能となり、メジャーとなる可能性もある。

【0050】

次に、端末3について説明する。端末3は、インターネットIに接続可能な端末であり、例えば、情報受信者Rが所有するパソコンである。端末3は、サーバ1と同様に、主なものとして主制御装置、記憶装置、入出力装置、通信制御装置等を備え、これらの装置がバスによって接続されている。さらに、端末3は、WWWブラウザを備え、インターネットI上に存在する種々のサーバ（WWWサーバ等）が閲覧可能に保持している各種情報を閲覧することができる。また、端末3は、WWWブラウザを利用し、インターネットI上に存在する種々のサーバに各種情報を送信することができる。

【0051】

次に、広告主Aについて説明する。広告主Aは、プロバイダPと広告掲載契約を結び、広告をホームページHDに掲載してもらう。広告主Aは、広告掲載契約において、掲載するホームページHDの数、ホームページ画面内の広告エリアの位置や大きさ等を考慮した基本広告料、および広告を掲載しているホームページHDへのアクセス回数、アクセス時間やその広告のウェブサイトへのアクセス回数、さらにこの広告の商品の販売実績等に応じた変動広告料を設定している。また、広告主Aは、広告掲載契約において、ホームページHDの情報の内容により掲載を希望するジャンル（例えば、ファッション関係、音楽関係、スポーツ関係等、あるいは主婦向け、OL向け、学生向け等）を指定してもよい。契約後、広告主Aは、広告情報HAをプロバイダPに提出する。広告情報HAは、HTML形式のデータでもよいし、あるいは様々な形式のワープロデータ、映像データや音声データ等の電子データでもよい。また、広告情報HAは、紙による文章や絵、写真、ビデオテープ、音声テープ等でもよい。そして、広告主Aは、毎月、広

告を掲載しているホームページHDへのアクセス回数、アクセス時間やその広告のウェブサイトへのアクセス回数、さらに販売実績等の実績に基づいて、広告料CAをプロバイダPに支払う。

【0052】

次に、通信業者Cについて説明する。通信業者Cは、プロバイダPと通信料契約を結び、サーバ1と端末2, ···や端末3, ···とが接続した際の通信料CC, ···で得た収入の余剰利益の一部を還元する。通信業者Cは、通信料契約において、通信料CC, ···による収入における利益が見込み利益より多い場合にその一部（例えば、50%）を還元通信料CRとして設定している。つまり、通信業者Cは、プロバイダPによるインターネットIの接続サービスによって予想以上の利益を得たので、その利益に貢献したプロバイダPに還元する。実際には、通信業者Cは情報提供者O, ···や情報受信者R, ···との間の契約によって個別に選択されるので、このような通信料契約は結ばれない可能性が高い。しかし、通信業界も競争が激化しており、他社との差別化の一つとして行う可能性もあり、また、通信業者CがプロバイダPを兼ねる場合には、このような通信料契約を結ぶことなく可能である。

【0053】

次に、図1乃至図4を参照して、プロバイダPによる情報を提供する事業全体の流れの一例について図5のフロー図に沿って説明する。図5は、プロバイダによる情報提供事業の全体のフロー図である。

【0054】

まず、情報を提供するためにホームページを開設したい情報提供者Oが、プロバイダPとプロバイダ契約を結ぶ（W1）。このプロバイダ契約では、ホームページへの広告の掲載、賞金授与、契約料や月毎の接続料等の項目について規定される。

【0055】

また、プロバイダPによる情報提供等のサービスを受けたい情報受信者Rは、プロバイダPとプロバイダ契約を結ぶ（W2）。このプロバイダ契約では、契約料や月毎の接続料等の項目について規定される。

【0056】

さらに、ホームページに広告を掲載したい広告主Aが、プロバイダPと広告掲載契約を結ぶ（W3）。この広告掲載契約では、基本広告料、変動広告料、掲載を希望するホームページのジャンル等について規定される。

【0057】

また、サーバ1との接続によって情報提供者O, . . . や情報受信者R, . . . から通信料を徴収している通信業者Cは、プロバイダPと通信料契約を結ぶ（W4）。この通信料契約では、還元通信料等について規定される。

【0058】

そして、広告主Aは、契約後、広告情報HAをプロバイダPに提出する（W5）。また、情報提供者Oは、端末2からプロバイダPのサーバ1に接続し、ホームページ情報HOをサーバ1に送信する（W6）。すると、プロバイダPでは、サーバ1へのオペレータの操作によって、ホームページ情報HOおよび広告情報HAを掲載したホームページHDを作成し、このホームページHDのデータをホームページデータベース1.1aに格納する。このようにして、プロバイダPは、広告付きのホームページHD, . . . を作成して提供することによって、広告を主とした収入によって事業を運営する。

【0059】

情報受信者Rが、ある情報を得たい場合、端末3からプロバイダPのサーバ1に接続する。すると、サーバ1は、情報検索画面を端末3に送信する。そこで、情報受信者Rは、情報検索画面に得たい情報のキーワードに入力する。そして、サーバ1は、そのキーワードが使われているホームページHDを記憶装置1.1のホームページデータベース1.1aから検索し、該当するホームページHD, . . . を抽出する。続いて、サーバ1は、抽出したホームページHD, . . . の件数やその概要等を情報検索画面の出力エリアに表示する。そこで、情報受信者Rは、その情報検索画面の出力エリアから情報を得たいホームページHDを選択し、そのホームページの閲覧要求をサーバ1に送信する（W7）。

【0060】

すると、サーバ1は、ホームページHDのデータをホームページデータベース

11a から取り出し、広告付きのホームページHDを情報受信者Rの端末3に送信する(W8)。そして、情報受信者Rは、そのホームページHDを見ることによって情報を得るとともに、広告の情報も得る。また、情報受信者Rは、このホームページHDから得たい情報が得られなかった場合には、前記と同様に、他のホームページHDに対して閲覧要求を送信して他のホームページHDを送信してもらう。情報受信者Rは、ホームページHDから情報を得ると、気が向いた場合にはアンケート欄に回答し、端末3とサーバ1との接続を切る。このようにして、プロバイダPは、情報受信者Rに対して情報を提供するとともに、広告も提供する。

【0061】

そして、プロバイダPは、毎月一回、広告料の請求書を広告主Aに送付する(W9)。この請求書には、広告主Aの広告を掲載したホームページHD, . . .へのアクセス回数、アクセス時間やその広告のウェブサイトへのアクセス回数等が記載されるとともに、それらのアクセスに基づいて算出された広告料が記載されている。広告主Aは、広告のウェブサイトへのアクセス回数や広告の商品の販売実績等に基づいて請求書の広告料についての妥当性を検討し、妥当な場合には広告料CAをプロバイダPに支払う(W10)。

【0062】

また、通信業者Cは、毎月一回、通信料の請求書を情報提供者Oに送付する(W11)。この請求書の通信料には、サーバ1と端末2とが接続した際の通信料の他に、情報提供者Oが電話で通話した際の通信料も含まれる場合がある。そして、情報提供者Oは、通信料CCを通信業者Cに支払う(W12)。また、通信業者Cは、毎月一回、通信料の請求書を情報受信者Rに送付する(W13)。この請求書の通信料には、サーバ1と端末3とが接続した際の通信料の他に、情報受信者Rが電話で通話した際の通信料も含まれる場合がある。そして、情報受信者Rは、通信料CCを通信業者Cに支払う(W14)。

【0063】

前記したように、通信業者Cは、情報提供者O, . . . および情報受信者R, . . . から通信料CC, . . . を徴収する。そして、通信業者Cは、その通信料

CC, . . . の中でサーバ1と接続した分の通信料によって余剰利益がでた場合に、プロバイダPに対する貢献料として還元通信料CRを算出し、その還元通信料CRをプロバイダPに贈る(W15)。余剰利益がなかった場合、還元通信料CRは贈られない。

【0064】

最後に、プロバイダPのサーバ1では、毎月末日、全てのホームページHD, . . . に対するポイントを算出する。また、サーバ1では、広告料CC, . . . の他に場合によって還元通信料CR、契約料、接続料等による全収入において余剰利益がでた場合には、賞金総額を算出し、さらにホームページHD, . . . の各ポイントに基づいて賞金総額を分ける。そして、サーバ1では、その賞金額と情報提供者O, . . . をリスト化して出力する。プロバイダPでは、このリストに基づいて情報提供者O, . . . に賞金PM, . . . を授与する(W16)。この賞金PM, . . . の授与は、情報提供者O, . . . の銀行口座への振り込み、現金書留、手渡し等で行われる。全収入において余剰利益がなかった場合、賞金PMの授与は行われない。

【0065】

次に、図1乃至図4を参照して、サーバ1によるポイントデータベース11bへのポイントに関するデータの設定処理を図6のフローチャートに沿って説明する。図6は、サーバによるポイントデータベースへのポイントに関するデータの設定処理を示すフローチャートである。

【0066】

サーバ1では、前記したように、情報受信者Rの端末3からホームページHDの閲覧要求を受信する(S10)。

【0067】

そして、サーバ1は、閲覧要求を受けたホームページHDのデータをホームページデータベース11aから取り出し、ホームページHDのデータを端末3に送信してホームページHDを端末3のディスプレイ上に表示する。そのとき、サーバ1は、そのホームページHDへのアクセス時間の計測を開始する(S11)。

【0068】

サーバ1は、端末3からのホームページHDの閲覧終了を受信待ちする（S12）。

【0069】

その閲覧終了を受信すると、サーバ1は、アクセス時間の計測を終了する（S13）。そして、サーバ1は、ポイントデータベース11bから該当するホームページHDのアクセス時間のフィールドに設定されている現在までのアクセス時間を取り出す。続いて、サーバ1は、その取り出したアクセス時間に計測したアクセス時間を加算し、その加算したアクセス時間をアクセス時間のフィールドに設定する（S14）。

【0070】

さらに、サーバ1は、ホームページHDのアンケート欄のアンケート結果に基づいて、ポイントデータベース11bの該当するホームページHDのアクセス回数のフィールドに設定されているアクセス回数を取り出す。続いて、サーバ1は、その取り出したアクセス回数に1を加算し、その加算したアクセス回数をアクセス回数のフィールドに設定する（S15）。ちなみに、アンケート結果が「非常に参考になった」場合には〔2〕の欄が1加算されて設定され、「参考になった」場合には〔1〕の欄が1加算されて設定され、「参考にならなかった」またはアンケートの回答がなかった場合には〔0.5〕の欄が1加算されて設定される。

【0071】

また、サーバ1は、ホームページHDに掲載されている広告のウェブサイトにアクセスがあった場合、ポイントデータベース11bの該当するホームページHDの広告アクセス回数のフィールドに設定されている広告アクセス回数を取り出す。続いて、サーバ1は、その取り出した広告アクセス回数にアクセスした回数を加算し、その加算した広告アクセス回数を広告アクセス回数のフィールドに設定する（S16）。ちなみに、広告のウェブサイトへのアクセス回数としては、例えば、一つの広告のウェブサイトに一回のアクセスでは一回、一つの広告のウェブサイトに二回のアクセスでは二回、二つの広告のウェブサイトに各々一回のアクセスでは二回、二つの広告のウェブサイトに各々二回のアクセスでは四回で

ある。

【0072】

以上のように、サーバ1は、情報受信者RがホームページHDにアクセスする毎に、ポイントデータベース11bにおける該当するホームページHDのフィールドのポイントを設定するためのデータを書き換える。

【0073】

次に、図1乃至図4を参照して、サーバ1によるポイントデータベース11bへのポイントの設定処理を図7のフローチャートに沿って説明する。図7は、サーバによるポイントデータベースへのポイントの設定処理を示すフローチャートである。ここでは、具体例として、図3に示すポイントデータベース11bのホームページ名が【AAA】のホームページHDに対するポイントを設定する場合について説明する。

【0074】

サーバ1では、毎月末日に、ポイントデータベース11bに登録されている全てのデータベースHD, . . . のポイントを設定する。まず、サーバ1は、毎月末日か否かを確認する(S20)。

【0075】

月末日の場合、サーバ1は、ポイントデータベース11bに登録されているホームページHDのフィールドのアクセス回数のデータを取り出し、そのデータに基づいてアクセス回数ポイントを算出する(S21)。ホームページ名が【AAA】のホームページHDの場合、[2]が308回なので616点、[1]が1211回なので1211点、[0.5]が41なので20.5点であり、これらを加算すると、アクセス回数ポイントは1847.5点となる。

【0076】

さらに、サーバ1は、そのホームページHDのフィールドのアクセス時間のデータを取り出し、そのデータを100で除算してアクセス時間ポイントを算出する(S22)。ホームページ名が【AAA】のホームページHDの場合、293111を100で除算すると、アクセス時間ポイントは2931.11点となる。

【0077】

続いて、サーバ1は、そのホームページHDのフィールドの広告アクセス回数のデータを取り出し、そのデータを広告アクセス回数ポイントとする。ホームページ名が【AAA】のホームページHDの場合、広告アクセス回数ポイントは201点となる。そして、サーバ1は、アクセス回数ポイント、アクセス時間ポイントと広告アクセス回数ポイントを加算し、その加算した値を小数点以下四捨五入し、算出したポイントをポイントデータベース11bに設定する(S23)。ホームページ名が【AAA】のホームページHDの場合、1847.5点、2931.11点と201点を加算すると4979.61点となり、小数点以下四捨五入すると4980点となる。

【0078】

そして、サーバ1は、このポイントの設定処理をポイントデータベース11bに登録されている全てのホームページHD, . . . に対して行われるまで続ける(S24)。

【0079】

以上のように、サーバ1は、ポイントを整数値で設定することによってデータベースHD, . . . の情報の価値を明確化し、情報の価値の比較を容易化する。

【0080】

最後に、図1乃至図4を参照して、サーバ1による賞金の分配処理を図8のフローチャートに沿って説明する。図8は、サーバによる賞金の分配処理を示すフローチャートである。

【0081】

サーバ1では、ポイントデータベース11bに設定されたポイントに基づいて賞金PM, . . . を分配する。まず、サーバ1は、ポイントデータベース11bに登録されている全てのホームページHD, . . . に対するポイントの設定処理が終了しているかを確認する(S30)。終了していない場合、前記したポイントの設定処理に戻る。

【0082】

終了している場合、サーバ1は、広告主A, . . . からの広告料CA, . . .

、場合によっては通信業者Cからの還元通信料C R、情報提供者O, . . . や情報受信者R, . . . からの契約料や月毎の接続料等からプロバイダPの全収入を算出する (S 3 1)。

【0083】

続いて、サーバ1は、全収入からコスト等を差し引いて利益を算出し、利益があるか否か判定する（すなわち、算出した利益がプラス値かマイナス値かを判定する）。利益がある場合、サーバ1は、その利益から見込み利益を減算し、余剰利益があるか否か判定する（すなわち、減算値がプラス値かマイナス値かを判定する）(S 3 2)。そして、サーバ1は、利益がない場合あるいは余剰利益がない場合、S 3 6の処理に移る。

【0084】

余剰利益がある場合、サーバ1は、余剰利益の50%を賞金総額に設定する(S 3 3)。これは、予想利益以上の余剰利益に貢献した情報提供者O, . . . に、その貢献料として余剰利益の一部を還元するためである。

【0085】

続いて、サーバ1は、賞金総額が1万円以上か否かを判定する(S 3 4)。そして、サーバ1は、1万円未満の場合、S 3 6の処理に移る。これは、情報提供者O, . . . に対する賞金P M, . . . の額が低すぎると、情報提供者O, . . . のホームページ情報H O, . . . の質の向上への意欲が薄れるからである。ちなみに、このような判定をすることなく賞金総額が1万円未満の場合でも賞金を分配するようにしてもよいし、情報提供者O, . . . の賞金P M, . . . の額に対するインパクトを強くするために判定ラインを10万円以上等に上げてもよい。

【0086】

1万円以上の場合、サーバ1は、ポイントデータベース1 1 bに登録されているホームページH D, . . . のポイントを比較し、ポイントの多い順に並べる。例えば、図3の例では、ホームページ名が「A A A」のホームページH D（ポイントが4980点）、ホームページ名が「C C C」のホームページH D（ポイントが516点）、ホームページ名が「B B B」のホームページH D（ポイントが

129点)の順である。さらに、サーバ1は、賞金総額をポイントの多いホームページHD, . . . から順に割り振り、賞金PM, . . . の額を決定する(S35)。この割り振り方は、例えば前記したような割り振り方があるが、特に限定されない。そして、サーバ1は、そのホームページHD, . . . の情報提供者O, . . . と賞金PM, . . . の額を示したリストを作成し、出力する。

【0087】

最後に、サーバ1は、ポイントデータベース11bに登録されている全てのホームページHD, . . . のポイントに関するデータ(アクセス回数のデータ、アクセス時間のデータ、広告アクセス回数のデータおよびポイントのデータ)を全て0に初期化する(S36)。

【0088】

以上のように、サーバ1は、ポイントの多い順に並べることによって情報の価値の順を明確化し、賞金の分配基準を明確化する。

【0089】

このサーバ1によれば、ポイント設定手段10cによって各ホームページHD, . . . に掲載されている情報の価値を数値によって明確化し、情報の価値の比較を可能としている。また、サーバ1は、賞金分配手段10dによって各ホームページHD, . . . のポイントを比較して多い順に並べ、情報の価値の高い順での賞金PMの分配を可能としている。この賞金PMの分配によって、情報提供者O, . . . は、賞金PMを得るために、ホームページ情報HO, . . . の質を向上させて情報の価値を高めようとする。その結果、情報提供者O, . . . 間での競争原理によって情報の質が全体的に向上し、情報の提供の場として自己成長していく。そのため、プロバイダPによる情報の提供の事業価値が向上し、他のプロバイダとの差別化を図ることができる。このように事業価値が向上するに従ってプロバイダ契約する情報提供者O, . . . や情報受信者R, . . . が一層増え、情報の提供の事業としての価値がさらに向上する。

【0090】

また、サーバ1では、ホームページHDに広告情報HAも掲載することによって、広告料CAによる収入を増加させる。そのため、プロバイダPの全収入が増

えることによって余剰利益も生まれ、情報提供者O,への賞金の確保が容易となる。さらに、プロバイダPによる情報の提供の事業価値が向上することによって、広告掲載契約を希望する広告主A,や広告料C A,も増え、余剰利益も増加する。

【0091】

さらに、サーバ1では、公衆回線4を利用して情報を送信するので、高速に情報を提供することができる。さらに、プロバイダPには、公衆回線4によって事業を運営する通信業者Cから還元通信料C Rによる収入も入る可能性が生まれる。この還元通信料C Rも、プロバイダPによる情報の提供の事業価値が向上すればするほど増加する。

【0092】

また、サーバ1では、インターネットIを利用してホームページH Dによって情報を送信するので、グローバルに情報を提供することができる。さらに、ホームページH Dに情報を掲載するので、広告情報H Aの掲載も容易であり、ホームページ情報H Oの変更も容易に対応することができる。

【0093】

さらに、サーバ1では、ホームページH Dへのアクセス回数やアクセス時間等を把握できるので、情報受信者RのホームページH Dへの関心の高さ（情報受信者Rにとっての情報の有用性）を数値として認識することができる。そのため、サーバ1では、各ホームページH D,の情報の価値を数値として設定することができる。

【0094】

特に、無料情報を提供する情報提供者O,に対して賞金P M,を授与するようにしたので、従来では期待することができなかった無料情報の質の向上を図ることができるとともに、情報受信者R,にとっては無料で有用な情報が得られる可能性が高くなる。その結果、プロバイダ契約を希望する情報提供者O,や情報受信者R,が一層増える。

【0095】

以上、本発明の実施の形態について説明したが、本発明は、前記の実施の形態

に限定されることなく、様々な形態で実施される。

例えば、本実施の形態では情報の価値としてアクセス回数、アクセス時間および広告アクセス回数に基づいてポイントを設定したが、情報の価値としては単純にアクセス回数あるいはアクセス時間だけで設定してもよいし、他の情報を加味して設定してもよい。

また、本実施の形態では特典として賞金を授与するように構成したが、プロバイダからの賞品、金券、プロバイダ契約における接続料や契約料の割引、広告主からの賞金、賞品や割引券あるいは通信業者からの通信料の割引等でもよい。

また、本実施の形態では無料情報の情報提供者にのみ賞金を授与するようにしたが、情報受信者にとって有用な情報（価値の高い情報）を提供している有料情報の情報提供者にも賞金を授与するようにしてもよい。

また、本実施の形態ではアンケート欄を3段階評価としたが、アンケート欄にはさらに詳細な評価を加えてもよいし、情報受信者にとってさらに有用なものとなるように、追加して欲しい情報、改善して欲しい項目、使い易さ等を書き込むようにしてもよい。

また、本実施の形態では賞金総額を複数の情報提供者（ホームページ）に割り振るようとしたが、一人の情報提供者（一つのホームページ）に割り振るようにしてもよい。

【0096】

また、本実施の形態ではプロバイダと通信業者とを別々の業者としたが、インターネット接続サービスを提供する携帯電話業者の場合には同一の業者となる。

また、本実施の形態では情報提供者と情報受信者を別々に記載したが、情報提供者が情報受信者になることもあるし、情報受信者が情報提供者になることもある。

また、本実施の形態ではプロバイダと広告主とを通信媒体で接続していないが、サーバと広告主の端末とを通信回線によるインターネット上で接続し、広告情報等をインターネット上で送受信するようにしてもよい。

また、本実施の形態では単一のサーバで構成したが、通信回線によって接続された複数のサーバによって構成するようにしてもよい。

【0097】

また、本実施の形態ではプロバイダのサーバによる情報提供事業に適用したが、通信販売業者の管理コンピュータによる通信販売業にも適用できる。通信販売業では、商品情報を掲載する通販誌が提供媒体となり、通販によって商品を販売する業者（メーカー等）が商品情報の情報提供者となる。この場合、通販誌の読者にとって購買欲を誘う商品情報を多数掲載している通販誌が、通信販売業としての価値を高め、通販加入者および商品の売上を増加させる。したがって、商品情報の価値はその商品の売上数等に基づいて評価され、特典の財源は業者からの通販手数料による収入における余剰利益で賄われる。そして、管理コンピュータでは、所定期間毎に通販誌に掲載されている全商品情報に対して売上数等に基づいて価値を設定し、設定した価値が高い商品情報から順に特典を分配する。つまり、商品の売上が多い商品情報を提供している業者には、通販手数料が還元される

。

【0098】

【発明の効果】

本発明によれば、情報提供者に対して情報の質の向上を促すことができ、情報を提供する事業の価値を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本実施の形態に係るプロバイダのサーバによる情報提供事業の全体構成図である。

【図2】

図1のサーバの構成図である。

【図3】

図2のポイントデータベースの構成図である。

【図4】

本実施の形態に係るホームページの画面構成の一例である。

【図5】

本実施の形態に係るプロバイダによる情報提供事業の全体のフロー図である。

【図6】

本実施の形態に係るサーバによるポイントデータベースへのポイントに関するデータの設定処理を示すフローチャートである。

【図7】

本実施の形態に係るサーバによるポイントデータベースへのポイントの設定処理を示すフローチャートである。

【図8】

本実施の形態に係るサーバによる賞金の分配処理を示すフローチャートである

【符号の説明】

- 1 . . . サーバ (情報提供事業システム)
- 2 . . . 端末 [情報提供者用]
- 3 . . . 端末 [情報受信者用]
- 4 . . . 公衆回線 (通信媒体)
- 1 0 . . . 主制御装置
- 1 0 c . . . ポイント設定手段 (情報価値設定手段)
- 1 0 d . . . 賞金分配手段 (特典分配手段)
- 1 1 . . . 記憶装置
- 1 1 b . . . ポイントデータベース
- A . . . 広告主
- C . . . 通信業者
- I . . . インターネット
- O . . . 情報提供者
- P . . . プロバイダ
- R . . . 情報受信者
- C A . . . 広告料
- C C . . . 通信料
- C R . . . 還元通信料
- H A . . . 広告情報

HO・・・ホームページ情報（情報提供者の情報）

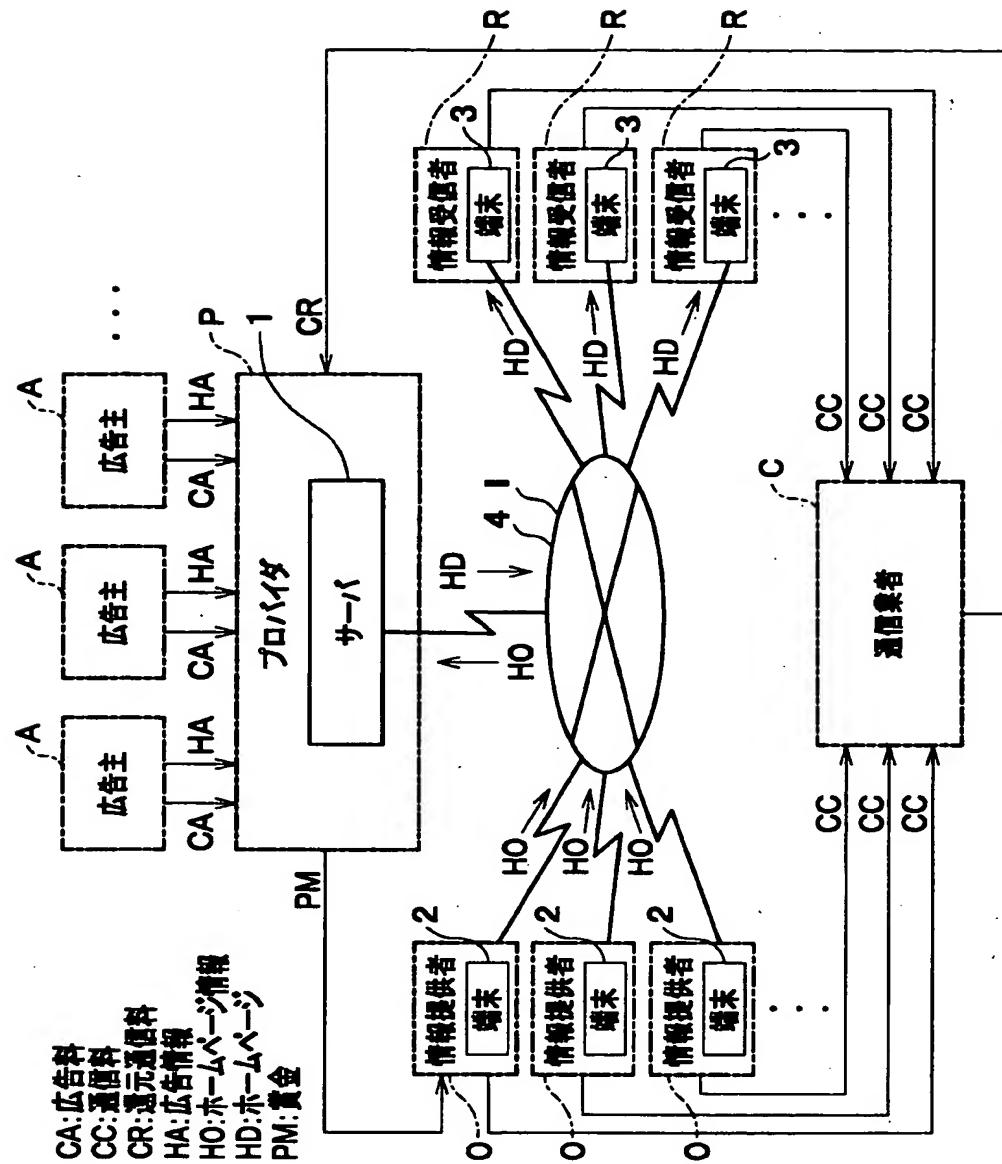
HD・・・ホームページ（提供媒体）

PM・・・賞金（特典）

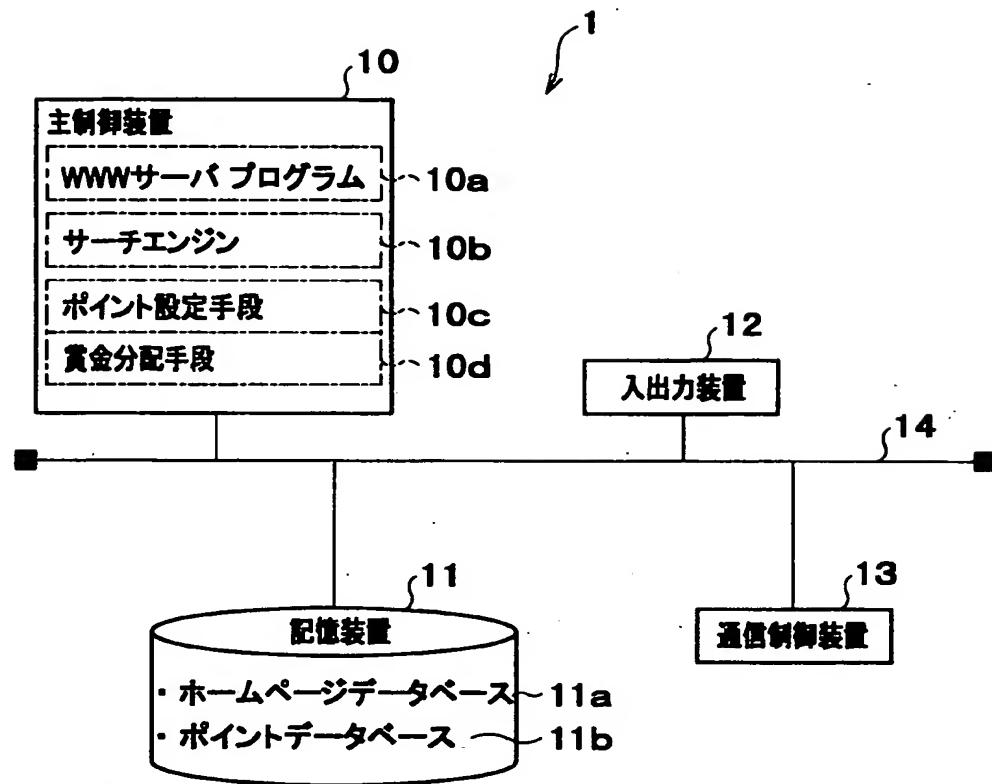
【書類名】

図面

【図1】



【図2】

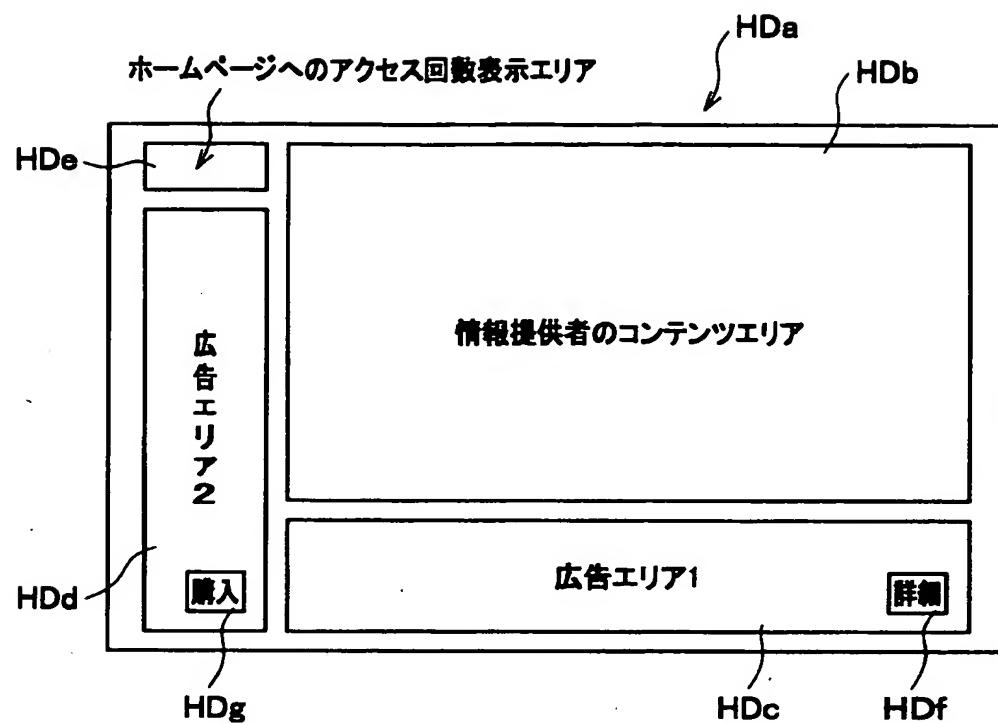


【図3】

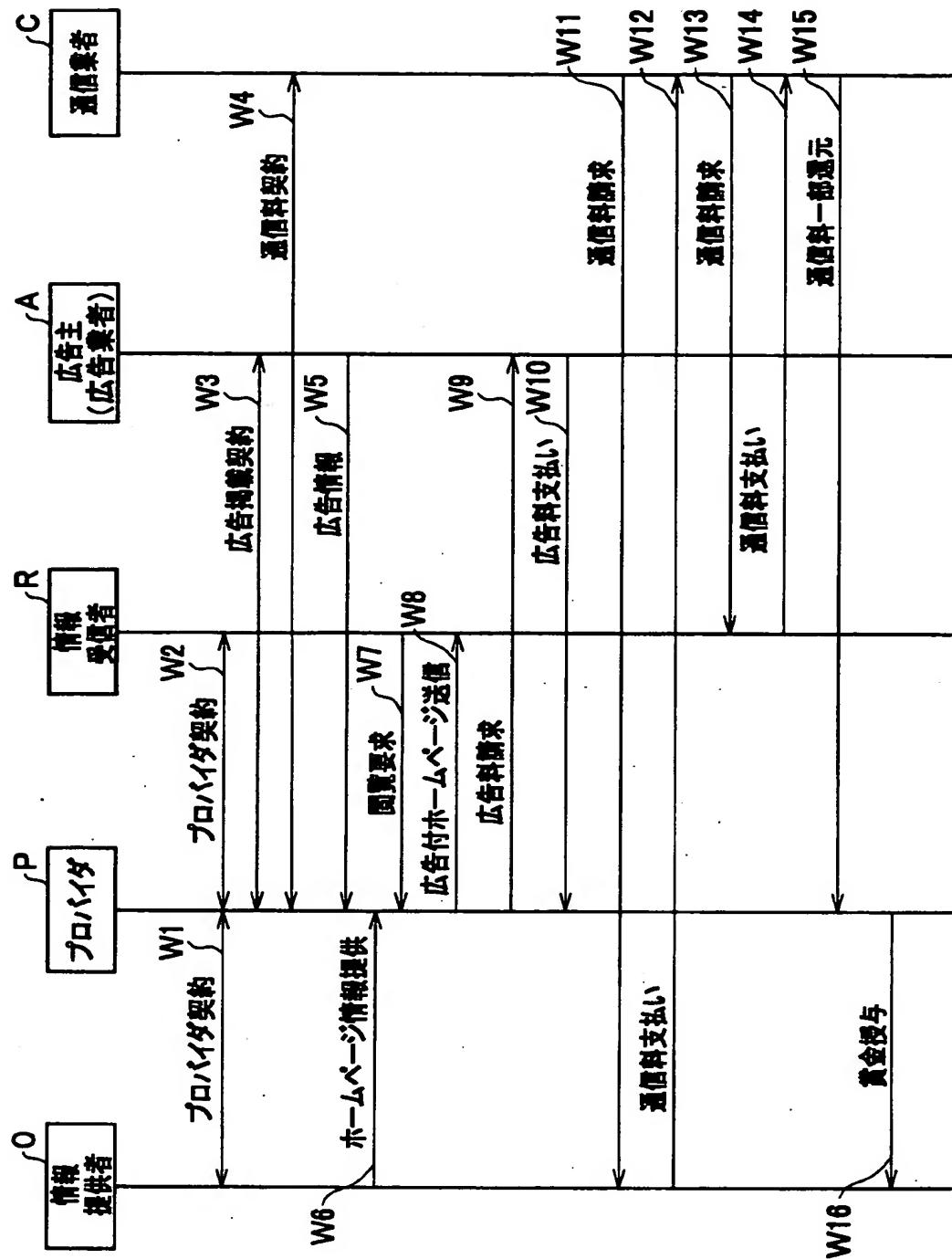
ボイントデータベース

11b

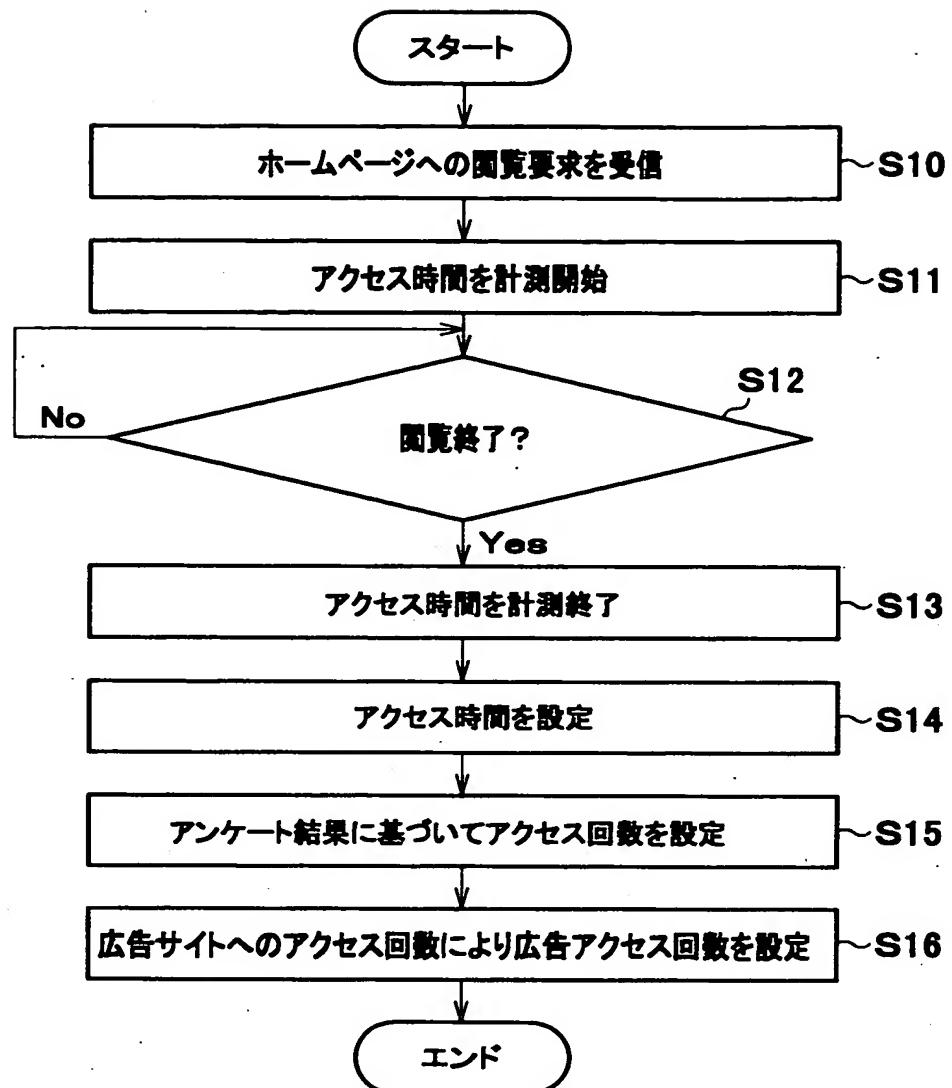
【図4】



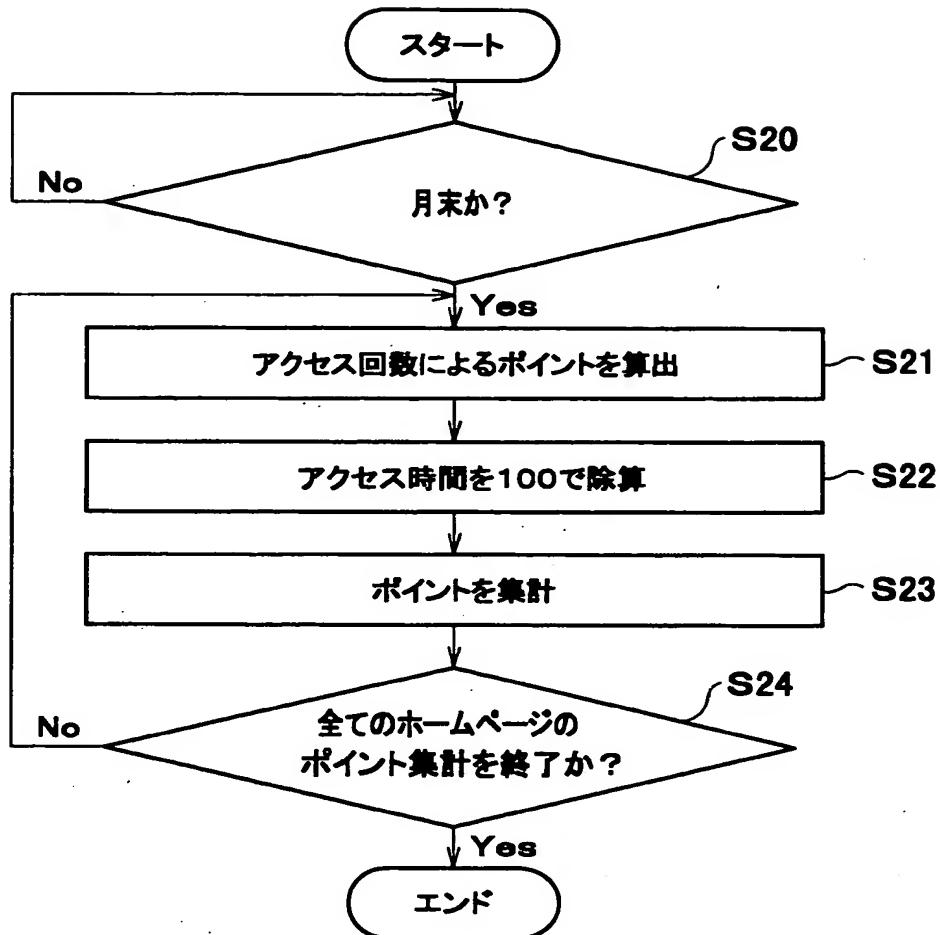
【図5】



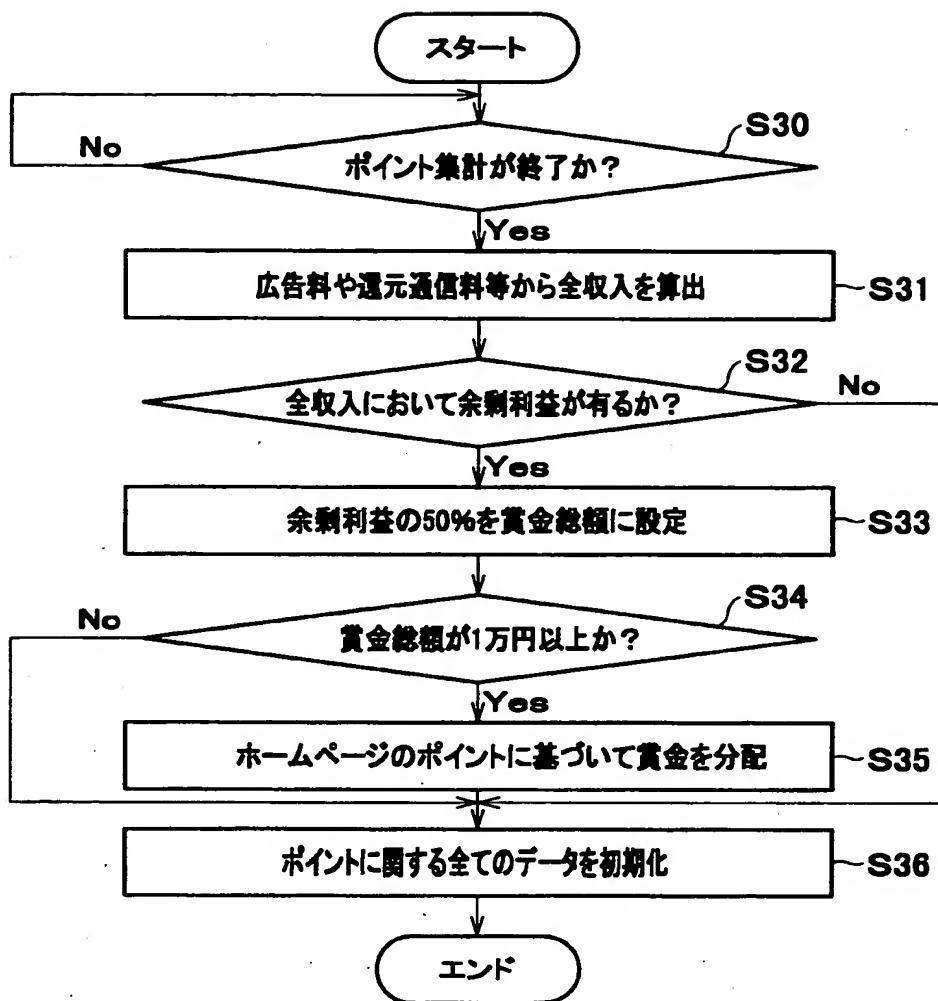
【図6】



【図7】



【図8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 情報を提供する事業の価値を向上させる情報提供事業システムおよび情報提供事業方法を提供することを課題とする。

【解決手段】 情報提供者O,からの情報（ホームページ情報）HO,を掲載した提供媒体（ホームページ）HD,によって情報HO,を提供するための情報提供事業システム（サーバ）1であって、情報提供者O,の情報HO,の価値を設定する情報価値設定手段と、情報HO,の価値に応じて情報提供者O,に特典（賞金）PMを分配する特典分配手段とを備えることを特徴とする。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005108]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
氏 名 株式会社日立製作所